

園芸市場情報

令和5年3月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407
FAX：03-5492-5407

3月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年並、相場は前年をやや上回るか！

果実類は、入荷量は前年をやや上回り、相場は前年をやや下回るか！

花き は、入荷量は前年をやや上回り、相場も前年をやや上回るか！

<今月の写真>

* 県産食材を使った社員食堂メニューを提供！ *

東京青果(株)、JA全農ちばと連携して、2/16(木)にNEC(株)本社ビル社員食堂(東京都港区芝)において、旬を迎える葉たまねぎやなばな等を使ったメニューによる、県産食材のPRを行いました。

先行して2/14(火)~17(金)にかけて、出荷最盛期を迎える県産切花を使ったフラワーアレンジメントを展示し、県産花きのPRとともに一足早い春を迎える房総半島を満喫してもらうための観光誘致PRも行いました。

デジタルサイネージで
イベントをPRして
いただきました→



↑ 県産野菜を使った豪華な定食！！



← 県産切花(カラー、カーネーション、キンギョソウ、キンセンカ、ストック)を使ったアレンジメント

CONTENTS (目次)

I 青果情報	1頁
2月（中旬まで）の経過	
東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格	
3月の見通し	
今月の青果物 特集「にんじん」	
II 花き（切花）情報	6頁
2月（中旬まで）の経過（販売経過、品目別経過）	
3月の見通し（ストック、カーネーション）	
1月の入荷量と単価の経過 <<確定値>>	
III 千葉県内市場における園芸品の市況概況	7頁
1月の青果物と花き	
IV やっちゃんば閑話	8頁
「令和4年を振り返る」	
V 首都圏掲示板	9頁
「ホワイトデーに向けた3県合同カラー展示」	

用語解説

園芸市場情報に使用する主な用語解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の幅を示す用語	平年並	: ± 2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ± 3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ± 6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 1月下旬～2月中旬までの経過

気 象 | 1月下旬の気温は全国的に低くなった。2月に入ってから、九州、中国、東海、甲信、関東で高く、その他の地域で低かった。降水量は、本州、北海道の太平洋側及び沖縄、九州北部、四国で少なく、その他の地域が多かった。日照時間は、東海、甲信、関東、東北及び北海道の太平洋側で多くその他の地域は平年並であった。

野菜類

入荷量 | 1月下旬から2月中旬の入荷量は、生育が前進した「ほうれんそう」や前年不作だった「ばれいしょ」が前年に比べかなり多くなった。一方、「なす」、「ピーマン」はかなり少なくなった。
野菜全体では、1月下旬から2月中旬の入荷量は 115,237 t（前年比 98.0%）と前年並だった。

相 場 | 前月に引き続き、重量野菜の「だいこん」「はくさい」「キャベツ類」は前年を大幅に上回ったものの、全体的に安値基調で推移した。
また、前年が不作で大幅な高値であった「たまねぎ」「ばれいしょ類」は前年を大幅に下回る安値となった。
野菜全体では、1月下旬から2月中旬の価格は 261 円/kg（前年比 102.7%）と前年並だった。

果実類

入荷量 | 「みかん類」「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」を中心に入荷。
「みかん類」は静岡県産が中心だが、静岡を除く産地で入荷量が少ないため、前年をかなり下回った。前年着果数が少なかった「りんご類」は、生育順調だったため前年を大幅に上回った。「いちご類」は1番果から2番果へ連続出荷し、入荷量は前年をやや上回った。
果実全体では、1月下旬から2月中旬の入荷量は 36,025t（前年比 101.5%）と前年並だった。

相 場 | 「みかん類」は入荷量が少なく前年をかなり上回り、「りんご類」は高単価で推移した前年を大幅に下回った。「いちご類」は端境なく、順調な入荷で前年をやや下回った。
果実全体では、1月下旬から2月中旬の価格は 522 円/kg（前年比 102.8%）と前年並だった。

東京都中央卸売市場における入荷量と価格

2023年1月下旬～2月中旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	1月下旬				2月上旬				2月中旬				1月下旬～2月中旬合計			
	開市日数 本年8日・前年8日				開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年6日・前年7日				開市日数 本年21日・前年22日			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	41,800	97.0	255	105.4	39,395	100.7	263	104.0	34,041	96.3	267	98.5	115,237	98.0	261	102.7
うち外国産	693	66.7	455	181.0	684	64.3	477	184.6	481	46.3	545	210.7	1,859	59.2	487	189.9
果実総量	13,056	96.7	504	104.8	12,638	105.8	524	103.6	10,330	103.0	544	99.3	36,025	101.5	522	102.8
うち外国産	882	91.7	246	106.8	878	87.8	261	108.5	844	97.2	278	110.8	2,604	92.0	261	108.9

主要品目一覧(都中央全体)

(単位:t、%、円/kg)

品目 (野菜)	1月下旬				2月上旬				2月中旬				1月下旬～2月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	3,759	97.3	105	136.2	3,554	107.5	100	107.1	2,596	90.2	102	90.1	9,908	98.6	102	110.4
にんじん	2,548	92.4	113	127.6	2,389	99.7	126	144.9	1,855	96.5	128	132.5	6,792	96.0	122	134.9
はくさい	4,880	93.4	65	175.4	4,683	96.2	54	134.6	3,529	82.0	68	111.8	13,091	90.9	62	137.0
キャベツ類	5,524	119.9	92	110.0	5,077	105.4	99	98.8	4,741	103.8	93	90.0	15,342	109.6	95	98.8
ほうれんそう	576	115.4	525	91.0	541	114.2	544	101.7	521	120.7	481	86.3	1,638	116.6	517	92.9
ねぎ	2,033	109.3	248	113.8	1,786	114.2	249	96.3	1,405	102.6	253	76.4	5,225	109.0	250	94.8
レタス類	2,336	114.3	234	80.7	2,082	93.1	281	88.7	2,019	87.2	260	86.7	6,437	97.6	257	85.1
きゅうり	1,308	79.6	623	142.9	1,477	101.6	498	110.7	1,337	100.5	422	98.3	4,122	93.1	513	117.0
なす	434	78.6	604	135.7	414	79.9	560	122.9	499	110.1	468	96.1	1,347	88.4	540	117.1
トマト	1,631	91.0	366	107.8	1,587	99.1	397	111.4	1,534	100.3	397	106.1	4,751	96.5	386	108.6
ピーマン	522	91.9	801	122.0	492	106.8	829	102.0	482	104.0	819	97.8	1,496	100.3	816	107.2
さといも	221	85.4	315	119.2	178	91.1	321	114.1	162	92.6	322	112.3	561	89.2	319	115.6
ばれいしょ類	2,849	139.3	137	56.3	2,808	117.7	152	61.5	2,208	90.3	149	58.9	7,865	114.4	146	58.7
たまねぎ	3,491	101.9	136	70.5	3,674	111.3	136	68.3	3,066	106.8	139	66.7	10,231	106.6	137	68.6
生しいたけ	224	83.3	1,086	114.1	197	91.8	1,106	112.7	159	76.1	1,084	110.2	580	83.8	1,092	112.5
かぼちゃ	445	61.2	350	179.9	430	62.1	394	199.2	259	40.5	495	268.5	1,133	55.1	400	207.7
さやえんどう	56	77.2	1,213	110.3	40	59.7	1,408	122.8	38	55.8	1,492	117.3	134	64.6	1,350	115.2
かんしょ	1,341	97.2	261	94.4	1,131	97.8	266	95.8	1,070	101.0	270	96.0	3,542	98.5	265	95.3
かぶ	425	99.0	147	112.9	372	103.6	154	105.3	348	106.4	152	92.5	1,146	102.7	151	103.7
ごぼう	220	94.0	372	120.3	245	96.9	355	132.8	163	81.6	372	124.6	628	91.5	365	125.7
こまつ菜	404	112.8	428	94.2	371	121.5	445	96.2	365	128.7	369	78.4	1,140	120.3	415	89.8
こねぎ	131	93.0	903	114.4	124	102.4	916	120.3	115	95.1	922	115.7	370	96.7	914	116.7
糸みつば	37	95.5	590	113.2	39	103.9	557	115.3	33	82.4	469	114.7	109	93.7	542	115.2
しゅんぎく	86	94.5	899	114.3	65	79.3	969	142.1	70	89.0	687	95.1	221	87.8	852	116.3
にら	252	105.6	987	113.9	220	103.2	1,003	93.2	230	108.0	903	86.9	702	105.6	965	97.5
セルリー	255	91.7	250	129.5	254	96.8	234	117.6	212	82.3	258	119.0	722	90.4	247	121.7
カリフラワー	196	110.3	197	87.2	134	70.1	245	120.2	147	76.4	216	104.3	477	85.0	217	102.1
ブロッコリー	1,224	116.1	388	87.7	942	88.1	453	115.5	1,159	108.7	401	103.3	3,325	104.2	411	100.8
サラダな	19	91.1	559	108.7	18	84.6	638	118.9	22	99.9	459	89.4	59	92.0	545	104.6
パセリ	14	113.8	1,255	102.0	13	121.2	1,253	100.8	11	97.8	1,199	102.5	38	110.6	1,238	102.0
チンゲンサイ	121	106.2	340	92.1	112	105.2	386	108.2	105	107.3	357	97.8	338	106.2	360	99.1
ミニトマト	563	86.2	671	112.8	576	102.6	732	115.9	527	99.7	680	107.3	1,665	95.6	695	112.4
いんげん	51	65.7	1,092	116.1	43	69.4	1,309	137.5	55	97.6	1,098	101.9	149	76.1	1,157	117.5
そらまめ	32	71.0	870	119.9	12	28.9	1,220	167.4	11	27.2	1,645	205.7	54	43.3	1,100	146.7
やまといも	32	86.9	639	114.3	27	97.5	624	112.0	30	87.6	617	109.7	89	90.1	627	112.0
根しょうが	59	102.2	578	93.9	52	95.9	589	98.4	46	98.6	602	100.3	157	99.0	589	97.3
マッシュルーム	43	109.5	997	103.4	39	118.9	996	100.3	31	95.8	1,029	105.0	113	108.2	1,005	102.8

品目 (果実)	1月下旬				2月上旬				2月中旬				1月下旬～2月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
みかん類	4,556	83.7	334	117.5	3,584	92.8	351	114.7	2,408	92.7	362	110.2	10,549	88.6	346	115.0
(普通みかん)	4,395	84.6	328	117.7	3,515	92.8	348	114.5	2,375	92.4	358	109.9	10,285	89.0	342	114.9
かんきつ類	2,897	91.0	405	108.7	3,589	109.9	398	108.4	3,202	108.2	402	109.1	9,688	103.0	402	108.7
その他かんきつ類	307	79.3	533	100.9	486	101.7	546	106.2	573	118.3	539	112.3	1,365	101.2	540	106.8
りんご類	2,519	119.0	300	81.9	2,541	127.4	305	84.8	2,100	118.6	293	81.1	7,161	121.8	300	82.7
(ふじ)	2,089	122.6	295	79.9	2,031	123.8	291	80.3	1,751	119.0	289	80.2	5,870	121.9	292	80.1
いちご類	1,478	111.1	1,554	90.0	1,577	110.1	1,577	97.4	1,445	93.5	1,574	101.4	4,501	104.5	1,568	96.3
(とちおとめ)	602	88.1	1,450	90.5	630	87.5	1,466	99.1	486	71.2	1,442	99.7	1,717	82.3	1,454	96.3
その他いちご	537	157.1	1,563	87.1	557	152.0	1,578	93.3	526	133.3	1,578	97.1	1,621	146.9	1,573	92.6
メロン類	103	119.2	1,261	116.1	82	82.2	1,337	133.0	79	98.4	1,272	126.2	263	99.1	1,288	124.8
(アールスメロン)	59	106.4	1,632	124.8	49	96.1	1,700	129.6	45	98.8	1,675	130.3	153	100.6	1,667	127.9
すいか類	14	106.2	344	87.3	19	77.3	461	115.0	10	35.5	465	118.1	43	65.5	423	106.7
(すいか大王)	14	105.8	335	86.5	12	59.8	277	91.9	7	31.1	334	109.4	34	59.0	313	97.1
(こだますいか)	0	144.4	1,010	90.4	7	164.9	796	88.3	3	56.5	816	99.0	10	106.9	806	93.3
ぶどう類	31	112.8	1,951	137.3	18	66.3	1,117	145.5	79	255.8	626	97.3	127	150.1	1,018	108.8
かき類	203	217.8	388	79.3	100	212.9	388	74.4	37	213.8	505	85.4	340	215.9	401	78.6

主要品目一覧(都中央千葉県産)

品目 (野菜)	1月下旬				2月上旬				2月中旬				1月下旬～2月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	1,416	84.1	103	137.9	1,500	119.4	99	110.0	1,104	110.0	100	89.9	4,020	101.9	101	113.3
にんじん	2,033	95.6	115	125.4	1,847	100.3	126	141.1	1,384	97.9	129	130.2	5,264	97.8	123	132.0
キャベツ類	1,262	103.7	89	104.5	958	82.2	95	105.5	1,196	103.0	88	90.0	3,416	96.4	90	99.4
ほうれんそう	45	107.9	426	85.4	36	90.6	442	102.6	37	128.1	378	80.4	118	106.9	416	89.1
ねぎ	602	109.6	245	110.6	606	113.7	241	93.9	508	113.4	248	74.4	1,717	112.1	245	91.7
レタス類	119	93.0	306	90.8	114	110.9	355	100.7	109	133.9	333	99.6	342	109.5	331	96.9
きゅうり	165	53.2	563	135.8	267	94.5	466	109.6	218	92.4	396	96.2	650	78.4	467	112.0
トマト	63	94.6	337	106.0	54	89.9	359	108.5	60	102.6	355	105.5	177	95.6	350	106.7
さといも	23	117.1	297	121.8	16	99.5	300	114.8	13	65.5	320	110.6	53	94.0	303	114.7
かんしょ	653	98.5	248	94.9	607	93.6	256	96.1	568	104.6	258	96.1	1,829	98.6	254	95.7
かぶ	369	102.9	146	109.4	330	108.7	153	101.5	311	107.8	150	90.3	1,010	106.2	150	100.4
こまつ菜	14	106.8	392	89.5	12	95.8	386	97.2	13	109.9	357	90.0	39	104.2	379	92.0
しゅんぎく	31	85.7	901	114.2	22	66.6	965	140.5	26	90.9	679	93.2	79	80.7	846	114.9
サラダな	8	87.0	555	116.6	8	105.6	655	121.3	10	110.2	455	90.9	26	100.5	548	108.9
パセリ	7	113.6	1,047	91.4	7	120.8	1,051	93.9	6	118.2	1,037	90.1	20	117.5	1,045	91.8
ミニトマト	57	83.4	547	103.6	56	115.8	643	96.0	56	111.2	559	96.6	169	101.0	583	99.8
やまといも	21	87.5	599	109.7	17	106.7	579	104.2	21	97.1	589	104.4	59	95.8	590	106.3

品目 (果実)	1月下旬				2月上旬				2月中旬				1月下旬～2月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
メロン類	17	107.0	1,479	90.5	20	98.0	1,492	100.0	18	84.6	1,433	98.5	54	95.5	1,468	96.8
(とちおとめ)	10	96.4	1,418	90.9	13	107.4	1,461	100.4	11	86.0	1,352	94.9	34	96.5	1,414	95.9
その他いちご	7	127.4	1,573	88.2	6	81.0	1,572	101.0	7	81.3	1,563	104.3	20	92.6	1,569	98.7

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。－は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料: 東京青果物情報センター選報

2 3月の見通し

野菜

3月も気温が高めに推移する見込みであることから、「だいこん」「キャベツ類」「ねぎ」等は潤沢に出回る見込み。「ばれいしょ類」は北海道産が早めに切り上り、後続の鹿児島県産は低温・降雪等による作柄不良のため、小玉傾向で、出荷量は平年をやや下回る見込み。

果実

「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」の出回りが中心となり、「びわ」「マンゴー」「すいか類」などの出荷が始まる。

入荷量は、「いちご類」は九州産地で中旬に3番果のピークを迎え、下旬以降、全国的に出荷量が増える見込み。「りんご類」は産地在庫があるため、少なかった前年を上回る。「かんきつ類」は1月下旬の寒害を受けた産地があり、全体的に少ない見通し。

価格は、「いちご類」は前年並。「りんご類」はCA貯蔵品に切替わり中上位等級が増えると予想され2月よりは高くなる見込み。

果実全体では、入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (主産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	↗	↘↘	↘↘	↗↗	主産県は千葉、神奈川県産。低温干ばつの影響がみられていたが回復し、平年並の出荷量が見込まれる。
にんじん	⇒	⇒	↑↑	⇒	主産県は千葉、徳島県産。千葉県産の出荷進捗は良く、漸減し、3月中旬以降、後続産地の徳島県産が増加することで、平年並の出荷が見込まれる。
キャベツ類	⇒	↘	↘↘	⇒	主産県は千葉、愛知県産。低温・干ばつの影響は解消し、生育は回復することから、平年並の出荷が見込まれる。
ねぎ	⇒	⇒	↘↘	↘↘	主産県は千葉・埼玉県産。豊作基調により、秋冬作の残量が多く、出荷量の少なかった昨年をやや上回り、平年並の出荷が見込まれる。
きゅうり	⇒	⇒	↗↗	⇒	主産県は宮崎、群馬、千葉県産。低温等による生育の遅れがあるが、平年並の出荷が見込まれる。
トマト	⇒	⇒	↘	↘↘	主産県は熊本、愛知、栃木県産。前年のような病害多発はないが、低温等の影響から生育緩慢、着色遅れはあるが、平年並の出荷が見込まれる。
			増加	減少	

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上

3 今月の青果物

にんじん

主要産地のにんじんの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	2022年3月入荷量	2022年3月シェア率
千葉	2,717 t	39.8 %
徳島	2,938 t	43.0 %
鹿児島	220 t	3.2 %
長崎	1 t	0.0 %

3月入荷予測	6,800t(前年比99.1%、平年比101.4%)		
3月価格予測	160円(前年比147.9%、平年比102.1%)		
3月市況予測	(上旬) 強保合 ↗	(中旬) 弱保合 ↘	(下旬) 弱保合 ↘

今後の競合産地の動向は?

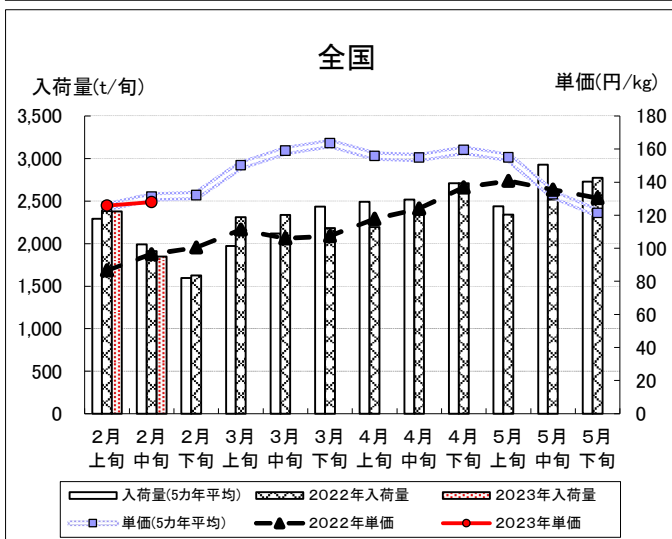
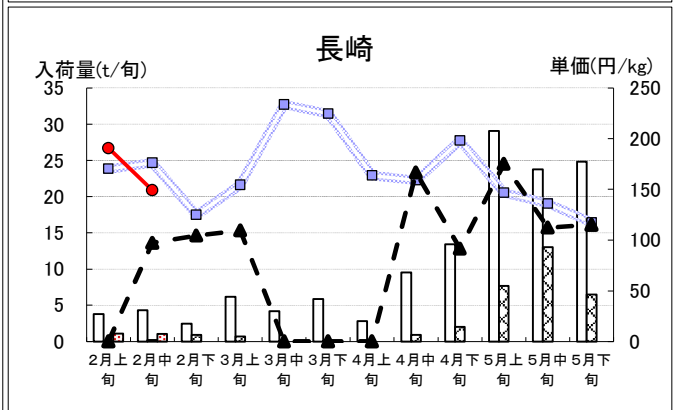
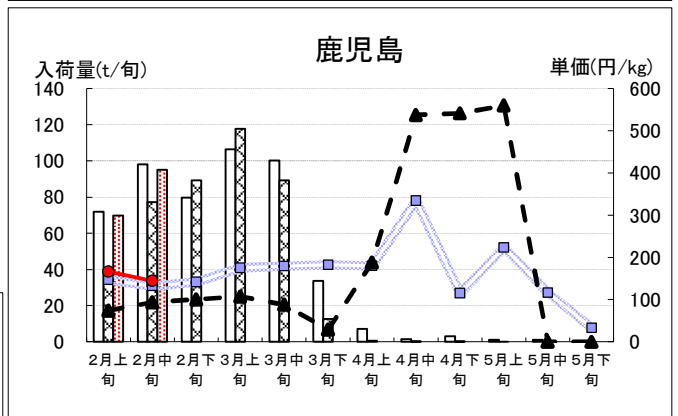
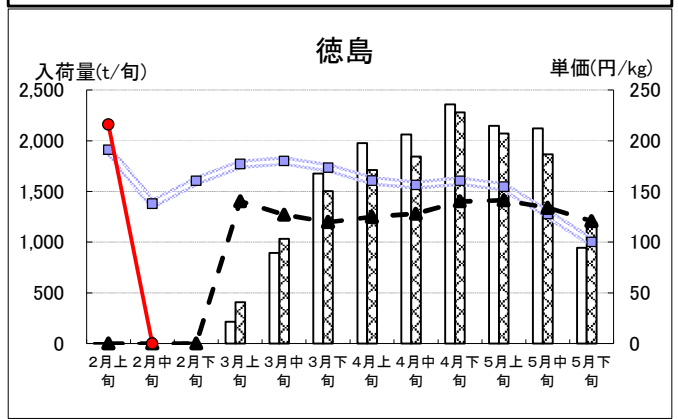
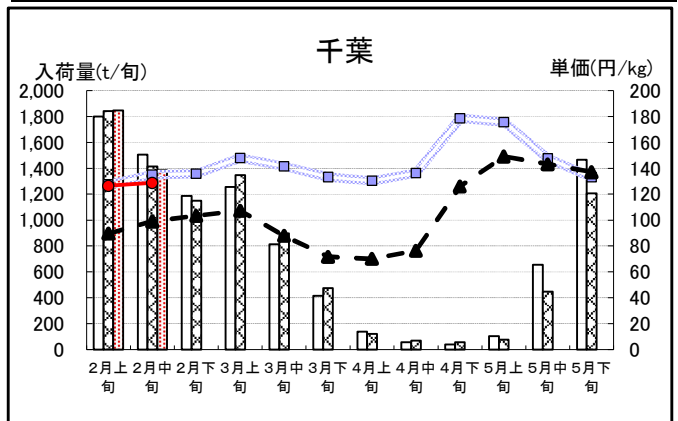
令和4年の東京都中央卸売市場の年間入荷量は、1位千葉県(37%)、2位北海道(28%)、3位徳島県(17%)となっています。

千葉県は5~7月の春夏、11~3月の秋冬、2位の北海道は7~10月の夏秋、3位の徳島は3~5月の春と産地をリレーし、年間を通じて供給されています。

過去10年の国内生産量は減少傾向にあります。夏秋の産地である青森県、北海道では生産量が増加しています。

にんじんの1人当たりの年間購入数量は平成27年をピークに減少していますが、家庭内等の調理において、欠かすことのできない品目であり、変動幅は少なく、堅調です。

千葉県産の3月の出荷量は秋冬にんじんの出荷が前進し、順調に進んだことから昨年を下回る見込みです。後続産地の徳島県産の作柄はおおむね良好で3月上旬から出荷が始まり、漸増する見込みです。3月の単価は堅調ですが、徳島県産の出荷増に伴い、価格は下がっていく見込みです。



Ⅱ 花き(切花)情報

2月(中旬)までの経過

1月下旬の入荷量は、寒波の影響により平年に比べてかなり少なくなったが、2月に入り盛り返した。相場は、1月下旬から平年より大幅に高く、2月上中旬はバレンタイン等イベント需要から更に高値となった。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	クリスマスから年明けにかけての寒波の影響により、1月下旬は平年に比べてかなり少なくなった。2月上旬には回復し、平年よりかなり増加となり、中旬はやや増加となった。
相場	1月下旬は平年よりも大幅に高くなった。2月上旬は更に上がり、平年比40%を超える値上がりとなった。中旬は少し落ち着いたものの、平年比30%を超える高値となった。
動向	品薄による単価高が慢性化している。 入荷量は平年、前年よりも増加したが、需要が上回る状況が続いた。

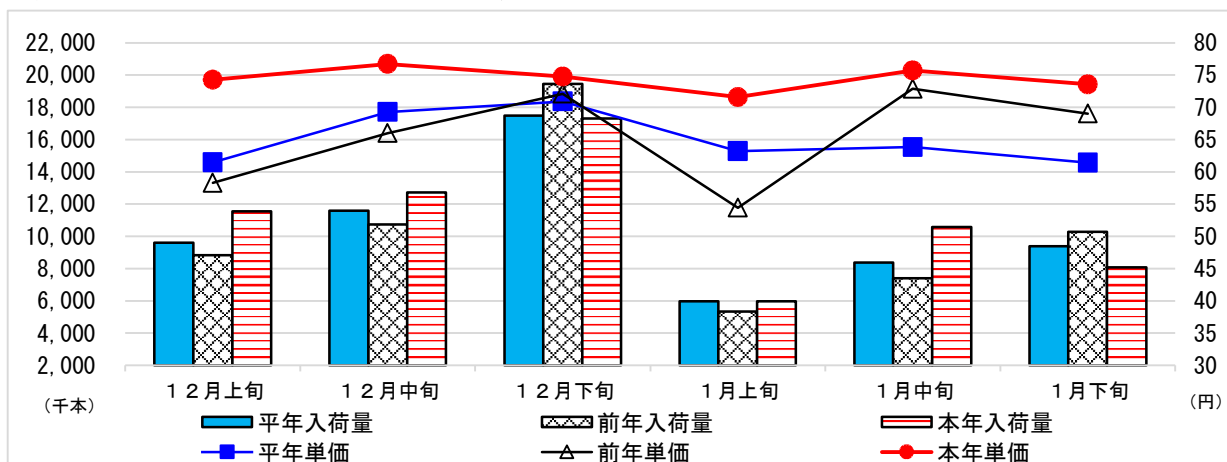
品目別経過

品目	経過
ストック	(株)フラワーオー クションジャパン 山形、福島、千葉、愛知からの入荷が主。前半は寒波の影響で千葉微減も回復し、中旬以降徐々に相場も落ち着いた。
バラ	(株)第一花き フラワーバレンタインもあり需要増。入荷量に関しては燃料代高騰と寒さの影響が大きく、予想よりもやや少なめとなった。
カラー	(株)大田花き 千葉、愛知ともに寒波の影響もあり、昨年と比べると上旬は入荷少なく高単価での取引となった。中旬頃から数量増加し、単価は落ち着いた。

3月の見通し

品目	見通し
コギク	(株)世田谷花き 上旬から入荷は増える。お彼岸需要で引き合いあり。単価は強めと見込まれる。
カーネーション	(株)大田花き お彼岸需要、送別会需要で引き合いあり。
ガーベラ	(株)フラワーオー クションジャパン 静岡、千葉メインの入荷となる見込み。昨年と同程度の数量、相場となる見込み。 年間をとおして一番の需要期となる見通し。

1月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株)大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成 平年値は過去3カ年の平均

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

青果物

単位：t、円/kg

品目	R5. 1月				累計 (R4. 1～R4. 12月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
野菜	17,320	0.95	174	0.93	204,101	0.83	205	1.10
だいこん	2,142	0.70	68	1.36	22,677	0.71	95	1.57
にんじん	965	0.92	112	1.12	11,235	0.89	127	0.93
はくさい	1,759	0.93	62	1.31	13,035	0.82	70	1.30
キャベツ	2,241	0.76	74	1.19	37,401	0.84	86	1.25
ねぎ	795	0.87	238	1.12	9,861	1.04	282	0.83
トマト	425	0.73	498	1.01	7,243	0.72	377	1.10
きゅうり	513	0.83	300	1.07	9,268	0.85	281	1.01
ばれいしょ	826	0.89	105	0.54	11,931	0.93	197	0.80
たまねぎ	1,759	1.03	94	0.55	17,389	0.65	192	2.01
レタス	498	0.71	199	1.40	8,910	0.80	178	1.15
果実	5,350	1.00	383	0.94	49,499	0.86	444	1.11
みかん	1,767	0.81	248	1.02	6,756	0.82	269	1.08
かき類	999	1.30	230	0.66	2,284	1.18	252	0.71
グレープフルーツ	25	0.51	321	1.70	540	0.67	271	1.23
なし類	79	1.77	358	0.74	2,914	0.96	412	0.92
ぶどう類	95	1.09	1,673	1.08	1,316	0.90	1,122	1.06
いちご類	78	0.74	1,964	1.05	4,845	0.98	1,185	1.09
すいか類	5	3.11	251	0.65	3,886	0.93	289	1.10
メロン類	22	0.54	616	1.04	1,795	0.82	556	1.09
バナナ	348	0.63	174	1.31	5,003	0.78	171	1.16
りんご	716	0.96	307	0.83	5,770	0.79	356	1.22
その他	220	0.86	439	0.89	2,635	0.97	216	0.65
青果物合計	22,890	0.96	226	0.94	256,235	0.83	252	1.11

花き

単位：千本（千鉢）、円/本（鉢）

品目	R5. 1月				累計 (R4. 1～R4. 12月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
切り花	1,253	0.92	73	1.07	13,352	0.91	70	1.14
きく	246	1.04	56	0.87	3,393	0.84	63	1.07
バラ	31	0.88	107	0.97	450	0.97	100	1.07
カーネーション	154	0.95	51	1.06	2,671	0.97	54	1.11
枝物	257	1.10	107	0.97	512	0.97	109	1.04
鉢物	88	1.06	215	0.93	1,275	1.01	156	1.01
その他	1	1.00	4,714	1.74	10	-	567	-
花き合計	1,599	0.95	89	1.05	15,149	0.92	79	1.12

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単価に満たないことを示す。

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

IV やっらゃば閑話

「令和4年を振り返る」

1月下旬に令和4年の東京都中央卸売市場の入荷量等のデータが公表されました。野菜全体の入荷量は1,399,202tで、うち千葉県産は189,713tで、前年比98.8%と、ほぼ前年並の結果でした。

都道府県別に見ると、千葉県は茨城県に次いで第2位、以下、北海道、群馬県、長野県と続きます。

少し過去にさかのぼって状況を整理してみます。

10年前の平成24年はどうだったか、千葉県産の入荷量は214,072tで、令和4年の112.8%でした。

更に10年前の平成14年を見ると、千葉県産の入荷量は251,017tで、令和4年の135.5%という結果でした。しかも、平成14年は千葉県産野菜の入荷量は全国第1位でした。

都中央の野菜全体の入荷量も10年前、20年前に比べると減少しています。販売チャンネルが多様化している中で、単純に市場入荷量のデータだけで判断しづらいとは思いますが、野菜の生産力が落ちているように思われます。

特に、にんじんやねぎなどの露地野菜の落ち込みが大きいようです。

原因は、農業者の高齢化や担い手不足ということなのでしょうが、これって私が小学生の時から約半世紀もの間、言われ続けているような気がします。

じゃあどうすればいいのかと言われると明快な答えは持ち合わせていませんが、生産力をアップさせるためには「野菜をたくさん食べる」ことが重要だと思っています。

今年度も残りあと1か月になりました。自分の仕事が生産力アップにつながっているのかどうか、検証と反省をテーマに今年度の総括をしていきたいと思っています。

(階段スクワット)

V 首都圏揭示板

ホワイトデーに向けた3県合同カラー展示

2/27(月)から3/3(金)まで、大田市場花き棟中央通路にて、湿地性カラーの産地である3県(愛知県、熊本県、千葉県)が、合同で「ホワイトデーはカラーを贈る日」と題した展示を行いました。

千葉県は令和3年に発表した新品種「Brilliant・Bell」を、主力品種である「ウェディングマーチ」と並べて展示し、規格別にその特徴である**仏炎苞**(以下、苞とします。)の小ささ、茎の細さが比較できるようにしました。また、熊本県からは熊本県育成品種「ホワイトトーチ」、愛知県からは「風花」の展示もありました。

卸関係者からは、(どちらの品種も)「千葉県産のカラーはシワや歪みがなく、ラッパ状に広がった苞の状態が良い」との声があり、買参人からは、「Brilliant・Bell」について「小ぶりの花で使いやすい」との声がありました。



←タイトル看板は(株)FAJ様に作製いただきました。

向かって右側に Brilliant・Bell、左側にウェディングマーチを配しました。 →





ご提供いただいている青果物及び花き産地情報について

首都圏マーケティングセンターでは、青果物及び花きの産地情報の提供を、全農業事務所をお願いしています。いただいた情報は、他県や全農、卸売会社との情報交換会議の基礎資料として活用するほか、農林水産省や花きの仲卸・小売店等の流通業界に情報提供しています。

新型コロナウイルス感染拡大の予防を徹底しながら、全国的に人の移動や集会等の開催が増えてきています。それに伴い、青果等の物流も活発になっており、生育情報や産地の様子、取組等の積極的な情報発信がますます重要になっています。引き続き、毎月の情報提供をお願いいたします。

～メールマガジン配信のご案内～

ホームページ情報の更新内容などをお伝えする電子メール（メールマガジン）を配信しています。ご希望の方は下記メールにてお申し込みください。

宛先 : nousin007@mz.pref.chiba.lg.jp

※タイトル欄に「メールマガジン希望」、本文に所属（勤務先）と担当者名を記入してください。